

## ★教育工学研究会 (ET)

専門委員長 宮寺庸造 副委員長 鷹岡 亮

幹事 森本容介・中山祐貴 幹事補佐 倉山めぐみ・岡本 勝

◎本研究会は参加費が必要になります。

ISS の技報完全電子化研究会に関する御案内ページ

[https://www.ieice.org/iss/jpn/notice/e\\_gihou.html](https://www.ieice.org/iss/jpn/notice/e_gihou.html)

日時 7月14日(土) 10:20~15:25

会場 函館工業高等専門学校(函館市戸倉町14-1. <http://www.hakodate-ct.ac.jp/guidance/access> 倉山めぐみ)

議題 Learning Analytics と学習データ／一般

1. 学習者の動作およびページ移動履歴の分析(第3報)

○渡邊栄治(甲南大)・尾関孝史(福山大)・小濱 剛(近畿大)

2. 受講者の学習遂行・出席率と過去の編成履歴に基づくペア編成最適化アルゴリズム—遺伝的アルゴリズム・粒子群最適化ハイブリッドの応用— 鈴木 聡(阪経済法科大)

3. Web 探索未熟者の模索経験促進のための手がかり示唆

○渡辺剛稜(福島大)・中山祐貴(早大)・大沼 亮・神長裕明(福島大)・宮寺庸造(学芸大)・中村勝一(福島大)

午後(12:45~)

4. ネットワーク外部性を主題とするビデオとオンラインレポートを活用した授業の設計と評価

仲林 清(千葉工大)

5. 学習者の理解状況に応じた講義コンテンツ視聴システムの開発—テスト誤答箇所を促す誤答箇所視聴機能の提案— 〇矢部智暉(香川大)・卯木輝彦(イマジカ・ロボット)・國枝孝之・米谷雄介・後藤田 中・藤本憲市・林 敏浩・八重樫理人(香川大)

6. 幾何学教育向け Unity3D パッケージの開発 東海林智也(函館高専)

7. 学習状況の視覚的な提示により持続的な学習を可能とするスマートフォン学習教材の開発

〇児玉雅明・今野裕太・趙 秀敏・大河雄一・三石 大(東北大)

8. スマートフォン学習教材による断続的な学習活動の分析のためのログデータ記録方式の設計

〇今野裕太・児玉雅明・趙 秀敏・大河雄一・三石 大(東北大)

9. ソースコード編集履歴に基づく学習状況推定のための機械学習モデルの開発

〇川口翔大・佐藤克己(学芸大)・中山祐貴(早大)・中村勝一(福島大)・宮寺庸造(学芸大)

◆IEEE Education Society Japan Chapter 協賛

☆ET 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

9月15日(土) 山口大[7月10日(火)] テーマ:初等・中等教育における学習支援技術の活用／一般

10月20日(土) 福岡工大[8月10日(金)] テーマ:新技術にもとづく学習支援／一般

**【発表申込先】** 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<https://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

**【問合先】**

森本容介(放送大)

E-mail: morimoto@ouj.ac.jp

◎第1著者として、1回の研究会で1件まで発表できます。

◎原稿締切日までに原稿がアップロードされない場合には、自動的に発表キャンセルとなります。原稿がない発表は認めておりませんので御注意下さい。

◎原稿は、4ページ、または6ページで作成して下さい。

◎本研究会の取り組みについては、ET 研究会ホームページ (<http://www.ieice.org/iss/et/>) も御覧下さい。